

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成20年9月5日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1070800220
法人名	タクミ工業株式会社
事業所名	グループホーム ベルジ渋川たやの家
所在地	群馬県渋川市半田宮西3075 (電話) 0279-25-3376
評価機関名	サービス評価センターはあとらんど
所在地	群馬県前橋市大友町2-29-5
訪問調査日	平成20年 8月27日

## 【情報提供票より】(20年7月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)13年12月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数(ユニット1)	7 人	常勤 7人, 非常勤 0人, 常勤換算	4.6人
職員数(ユニット2)	8 人	常勤 6人, 非常勤 2人, 常勤換算	5人
職員数(ユニット3)	8 人	常勤 7人, 非常勤 1人, 常勤換算	5.6人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	3階建ての 階 ~ 1, 2, 3階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	21,600円(管理費及び電気代)	
敷金	有( 円)		無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有(期間4年) / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,300 円			

### (4) 利用者の概要 (7月1日現在)

利用者人数	26名	男性	9名	女性	17名
要介護1	2名	要介護2	5名		
要介護3	4名	要介護4	13名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 84.3歳	最低	71歳	最高	94歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	上武呼吸器科内科病院	こすもすクリニック	船岡歯科医院
---------	------------	-----------	--------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所独自の運営理念『家庭的で、人としての尊厳を大切に、安心、安全、安楽な生活』『地域社会と共に歩む』を掲げ、管理者と職員は運営理念を共有し実現に向けて取り組んでいる。具体的に理念の実現に向け『今月の目標』を立て、全職員で唱和し、常に理念を意識しながらケアサービスに取り組んでいる。地域とのつきあいは、運営推進会議の開催を契機に利用者・職員と一緒に地域の一人として地域交流を進めている。農園作業、歌、話し相手、大正琴等のボランティアの訪問、地域の行事の招待を受けるなどで生活に楽しみや潤いがある。一人ひとりのその時の気持ちに添って散歩や買い物等、個別性ある支援ができるように努力している。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>①評価の意義の理解と活用は、職員が評価に対する理解を深め、自己評価には全職員で取り組むようにした。②現状に即した介護計画の見直しは、定期的見直し期間の短縮や毎月モニタリングを実施し、現状に即した見直しをしている。③重度化や終末期に向けた方針の共有は、事業所として指針を作成し関係者と共有を図っている。④食事を楽しむことのできる支援は、昨年と同様である。⑤鍵をかけないケアの実践は、玄関は開放しているが各ユニットの出入り口は施錠されている。⑦災害対策では、運営推進会議を通して、地域の方に協力依頼をしている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、各ユニットで職員が話し合い作成をしている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は定期的に開催をしており、事業所から利用者の状況、行事活動、研修内容等の報告を行い、参加者から意見や要望を聴いている。会議を契機に地域の方の協力が得られ、地域との付き合いに広がりもたれてきている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>運営推進会議に家族、利用者に参加をもらい、意見や要望等を聴いている。意見、要望、苦情等は職員間で話し合い運営に反映させるようにしている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>運営推進会議を契機に地域との付き合いに広がりもたれている。散歩時に挨拶を交わす、地域行事(老人会等)に招待される、清掃活動、草取り等に参加、地域の方が歌や話し相手、大正琴の演奏等に訪れてきている。農園作業で農家の方との交流を図っている。利用者と職員と一緒に地域の一人として付き合いをしている。</p>

## 2. 調査報告書

(    部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の運営理念の中に地域との関係性を重視した理念『地域社会と共に歩む家』を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は、「今月の目標」を掲げ、朝礼時に唱和をし、運営理念の実践に向け共有を図り取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議を契機に地域との付き合いに広がりもたれている。散歩時に挨拶を交わす、地域行事(老人会等)に招待、清掃活動、農園作業、草取り等に参加、歌や話し相手、大正琴の演奏に地域の方が訪れてくれる等で地域交流を利用者と職員は一緒に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、各ユニットで職員が話し合いをし作成している。各ユニットでサービス向上グループ活動に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催をしており、利用者の状況、行事活動、研修内容等の報告を行い、意見や要望を聴いている。また、災害時の協力依頼をしている。参加者から地域行事の年間予定表を頂き、運営に反映をさせている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事務連絡、会議録、介護保険更新手続き等、市の担当窓口に出かけ相談したり、電話等でも助言や指導を受け、市と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族等の来訪時には、健康状態や暮らしぶりを伝えており、ホーム便りを個別に行事の写真、暮らしぶりを記載し送る等で、定期的に報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族、利用者に参加してもらい、意見や要望等を聴いている。意見や苦情は職員間で話し合い運営に反映をさせている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職を最小限に抑えるように努め、利用者へのダメージを防ぐ努力をしている。入職者は職員と共に支援にあたり、馴染みの関係が築けるように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修や外部研修には経験に応じて参加をするようにしており、全国フォーラム、グループホーム大会、虐待防止、実践者研修、交換研修等受けている。研修内容は報告や資料を閲覧し共有を図るようにしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス連絡協議会に加入し、管理者研修、大会等に参加して、情報交換等をして連携を図り、サービスの質の向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族等に見学をしてもらい雰囲気を知らせ、病院等に面会に行き顔馴染みになる。家族や関係者からの情報を基に安心してサービス利用ができるように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活場面で昔の歌や手遊び等教わることも多い。共に過ごし支え合う関係に留意している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中や本人との会話の中から思いや希望の把握に努めている。言葉や表情などからも真意を推し測ったり、それとなく確認をするようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族には日頃のかかわりの中で、思いや意見を聴き、反映させるようにしている。毎月モニタリングを行い、各ユニットで話し合っ、それぞれの意見やアイデアを反映させた利用者本位の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは3ヵ月に1度と状態の変化に応じて実施している。各ユニット毎に職員間で話し合い、本人、家族等に説明し確認しながら現状に即した新たな介護計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診介助、送迎、買い物、退院の迎え、介護保険更新の手続き等、本人、家族の状況や要望に応じて臨機応変に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望するかかりつけ医となっている。また、受診や通院は本人や家族の要望に応じて対応するようにしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対して、事業所としての指針が作成されており、家族と話し合い意思確認を行ないながら希望に応じて看取りの支援をしている。今後は全職員に事業所の指針がより共有できるように話し合うことを課題としている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の尊厳を守り、さりげない言葉かけや対応に留意し、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応をしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、その日の天候や一人ひとりの体調に配慮し、その時の本人の気持ちに添って買い物や散歩等、個別性のある支援をするようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえ、テーブルを拭く、食器を洗う、下膳等、職員と一緒にしている。利用者の嗜好はあらかじめ聴き取りをしておき、月2回栄養士の訪問時に職員が伝え、献立に反映させている。職員は各ユニットで検食者だけが、同じテーブルで食事をしている。	○	野菜の下ごしらえ、テーブルを拭く、食器を洗う等、食事に関する活動を共にしているため、一歩進めて利用者と職員が同じテーブルを囲み、楽しく食事できるように検討してほしい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員が一方的に決めず、利用者のその日の希望を確認して入ってもらっている。希望によって、毎日入浴されている利用者もいる。また、入浴を拒む人には、言葉かけや対応の工夫をし、タイミングに合わせて支援をするように配慮している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜の下ごしらえ、テーブルを拭く、食器を洗う、おしぼりの整理、草むしり、野菜の収穫、洗濯物をたたむ、ドライブ、花見、外食、バイキング、おやつを作る(おやき、お饅头等)、芋煮会、買い物、散歩、足湯、書道、ボランティアの受け入れ、敬老会等で役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買い物、ウッドデッキ、玄関先で過ごす、季節の花見、足湯等、利用者が戸外に出て楽しめるよう支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関は施錠しないが、各ユニットの出入り口は施錠をしている。事務室に職員が居る時には開放するようにしている。	○	職員の連携で、出て行く気配を見落とさない見守りの方法を徹底し、一人ひとりのその日の気分や状態像を把握しながら、鍵をかけずに自由な暮らしを支援していく取り組みをしてほしい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て、年2回、消火訓練、避難訓練を利用者と一緒に行っている。地域の方には、運営推進会議で協力依頼をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し、職員が情報を共有している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム周囲に庭木が植えられており、玄関先に季節の花、ベンチや椅子、テーブルが設置されている。各ユニットに和室があり、箆笥や神棚、ソファ、手作りの椅子、利用者の作品、写真、ウッドデッキに花のプランター等があり、居心地よく過ごせる環境に配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	洋服ダンス、衣装箱、座り机、テレビ、ワゴン、書道(ご自分の作品)、人形、仏壇、耳かき、クシ等が持ち込まれており、一人ひとりの個性ある居室になっていた。		